

職員のキャリアパス

北海道開発局職員のキャリア形成イメージ

事務職

職歴

- 平成26年 帯広開発建設部 地域振興対策室
- 平成27年 国土交通省 北海道局 農林水産課
- 平成30年 本局 開発監理部 総務課
- 令和2年 留萌開発建設部 総務課

宮武 はるか MIYATAKE HARUKA

建設工事やコンサルタント業務などの契約に関わる仕事をしています。直接、工事の現場監督などを行うことはありませんが、それらの円滑な事業進捗に欠かせない契約業務を行っていることにやりがいを感じます。

私は採用後、国土交通省本省、北海道開発局本局、開発建設部での勤務を経験していますが、様々な場所で多様な業務を経験できる点も開発局の魅力の一つだと思います。

開発局は道内転勤がありますが、開発局職員である夫と同じ地域へ配属されるよう配慮していただけました。

入局したら、勤務地や仕事内容が気になると思いますが、頼りになる上司がいて、皆さんの成長を支えてくれる先輩もいます。分からない事を気軽に質問できる雰囲気があり、日々の疑問や不安を残すことなく業務へ専念できる職場です。

就職活動の際、実際に開発局を訪れて、職員の方が明るく話しやすかったことが入局の決め手でした。皆さんもぜひ、直接足を運んでみてください。

事務職

職歴

- 平成4年 室蘭開発建設部 古小牧港湾建設事務所 経理課
- 平成5年 本局 官房 総務課 秘書室
- 平成16年 旭川開発建設部 旭川河川事務所 総務課
- 平成22年 札幌開発建設部 広報官付 開発専門職
- 平成29年 農林水産省 北海道農政事務所 会計課 会計専門官
- 平成31年 国館開発建設部 経理課 上席経理専門官

金子 久充子 KANEKO KUMIKO

私が働き続けるなかで一番重視しているのは、「ワーク・ライフ」と、さらに「成長」のバランスです。

長く働いていると、様々なライフイベントがやってきます。私は自分が働きながら子育てするにあたり、いわゆる「マミートラック」や「ワンオペ育児」等の、主に女性が陥りがちなリスクとなるべく避けたいと思いました。このため、上司と相談し、子どもが幼少の頃は他省庁への出向で経験を積む機会を与えてもらいました。さらに、転勤にあたっては夫と同じ地域に異動させてもらったことで、夫と助け合って育児ができ、また、私自身の昇任も叶いました。何よりも自分のキャリアの歩みを止めずにすんだことが、今の大きな自信となっています。

皆さんが就職先を選ぶ際、「ワーク・ライフバランス」を基準とする方も多いでしょう。

そこにもうひとつ、「どんなライフイベントでも成長し続けられるか?」という視点も加えてみてはいかがでしょうか?

事務職

職歴

- 昭和60年 建設機械工作所 総務課
- 平成14年 本局 開発監理部 総務課 秘書室
- 平成22年 室蘭開発建設部 公物管理課 課長補佐
- 平成26年 札幌開発建設部 江別河川事務所 総務課長
- 平成30年 本局 建設部 建設行政課 課長補佐
- 令和3年 網走開発建設部 調査官

神山 孝治 KAMIYAMA KOJI

北海道開発局における事務官の業務分野は非常に幅広いですが、私が最も深く携わったのは、一級河川や直轄国道などの行政管理を担う『公物管理』です。

例えば、国道の管理では、路線や区域の指定に始まり、供用開始や区域の変更、占用物件の許可や不法行為の取締、道路改良に伴う供用廃止など様々な行政事務に従事します。

公物管理は、事務官でありながら、いわば地図に残る仕事ができることが魅力です。また、事業の最前線において、インフラ業界の公用語とも言える河川法や道路法を駆使し、時には国会の会議録で立法の趣旨を確認したり、裁判例も参考にしながら難題に立ち向かい、市民の皆さんや関係機関の方々と協議を重ねて見事解決できた時の達成感には、とても大きなものがあります。

道内最大の国の機関である北海道開発局。事務官としてやりがいのある業務分野も多様です。ぜひ私たちとともに世界の北海道を目指して邁進しましょう。

30代

具体的な業務の責任者となります。
また、部下職員の指導も行います。

40代

所属課所の課題に対して、
マネジメントを意識して業務運営を行います。

50代

部・課・事務所の責任者として
組織の意思決定や指揮・命令を行います。

技術職

職歴

- 平成27年 国館開発建設部 国館港湾事務所 第2工務課
- 平成29年 本局 開発監理部 施設調整課
- 令和3年 本局 港湾空港部 港湾建設課

亀尾 実愛 KAMEO MINORI

現在、網走港の防波堤工事の監督や調査・設計、予算管理などを担当しています。

今年度から係長に昇任したこと、仕事の幅が広がり、求められる役割や責任も大きくなりました。特に、係長として部下の指導・育成を行うことが大事な仕事だと感じています。

具体的には、工事監督業務を進める上で、現地を自分の目で見ることが大切であることから、現場へは常に同行し、安全管理などの指導すべきポイントは実践を通じて伝えています。

部下に教えるためには、自分が内容を把握していないわけなりません。あらかじめ勉強することはもちろん、分からることは周りの同僚や上司に確認し、時には一緒に学ぶことで、私も部下と一緒に日々成長しています。

技術職

職歴

- 平成11年 札幌開発建設部 岩見沢道路事務所 維持課
- 平成16年 本局 事業振興部 防災・技術センター
- 平成21年 本局 事業振興部 機械課 設計係 主任
- 平成25年 札幌開発建設部 施設整備課 施設整備専門官
- 平成29年 国土交通省 総合政策局 公共事業企画調整課 施工調整係長
- 平成31年 札幌開発建設部 施設整備課 施設防災対策専門官

久保 恭伸 KUBO KIYONOBU

日本の最北端に位置する北海道宗谷地域の国道、農業、港湾に関する施設整備や維持管理などを行っています。入局以来、道路維持、ダム建設、河川計画など一通り経験をした後に、本省への出向により東京勤務も経験させていただきました。

家族同様に臨んだ本省勤務ではi-Constructionに関する基準作りや委員会運営など近年推進されている建設DXの先駆けとなる制度整備に携わることができました。家族も東京生活をとても楽しんでくれて得られたものは大きかったと感じています。

民間企業による先端技術の活用が進んできており、アナログな業界であった建設業も今やAIやIoT、5G、ドローンや遠隔操作などが現場で活躍する時代に突入しております。

技術職

職歴

- 平成元年 帯広開発建設部 農業開発第1課
- 平成7年 農林水産省 構造改善局 建設部 水利課
- 平成11年 小樽開発建設部 小樽農業事務所 第2工事課 第1建設係長
- 平成19年 釧路開発建設部 根室中部農業開発事業所 副長
- 平成25年 小樽開発建設部 農業開発課長
- 平成31年 本局 農業水産部 農業振興課 課長補佐

羽生 哲也 HAYASHI TETSUYA

現在勤務する深川農業事務所は、北海道でも有数の穀倉地帯である石狩川流域に拓けた北空知地域に位置しており、食料の安定供給に欠かせない農地や農業水利施設を整備する事業実施を担当しています。私は事務所の長として、事業が円滑に進むように、所内の方針決定やそれに向けた関係機関との意見調整などを行っています。

「地元北海道で農業に携わる仕事に就きたい」との思いから、平成元年度に北海道開発局に入局し、早30年以上が経過しました。その間、平成7年度から2年に渡る農林水産省への出向経験を通じて、「北海道農業の重要性」と「郷土愛」を再認識したことが、今でも強く印象に残っています。

さて、今まさに世界規模での気候変動や多発する国際紛争の影響などで、自國での食料生産の重要性が年々高まっています。食料自給率200%を超える、全国有数の食料生産基地であるこの北海道で、農家の方々と日々接しながら、農地や農業水利施設の基盤整備と一緒に携わってみませんか?

私たちの仕事は、地域の方々の期待を背負っていて大変ですが、その分とてもやりがいがあります。北海道開発局は周りのサポートも充分に受けができる温かい職場ですので、是非、私たちと一緒に働きませんか!

本省・他機関等

国土交通本省

大臣官房、水管管理・国土保全局、道路局、北海道局など

地方整備局・地方運輸局

東北・関東地方整備局、北海道運輸局など

他省庁

会計検査院、人事院、内閣官房、内閣府、復興庁、財務省、農林水産省、経済産業省、環境省など

他機関

北海道庁、市町村、公益法人、独立行政法人など



北海道開発局

幹部クラス

本局

課長クラス

開発建設部

次長クラス

本局

企画官・課長補佐クラス

開発建設部

課長クラス

開発建設部

課長補佐クラス

本局・開発建設部

係長クラス

本局・開発建設部

係員クラス